

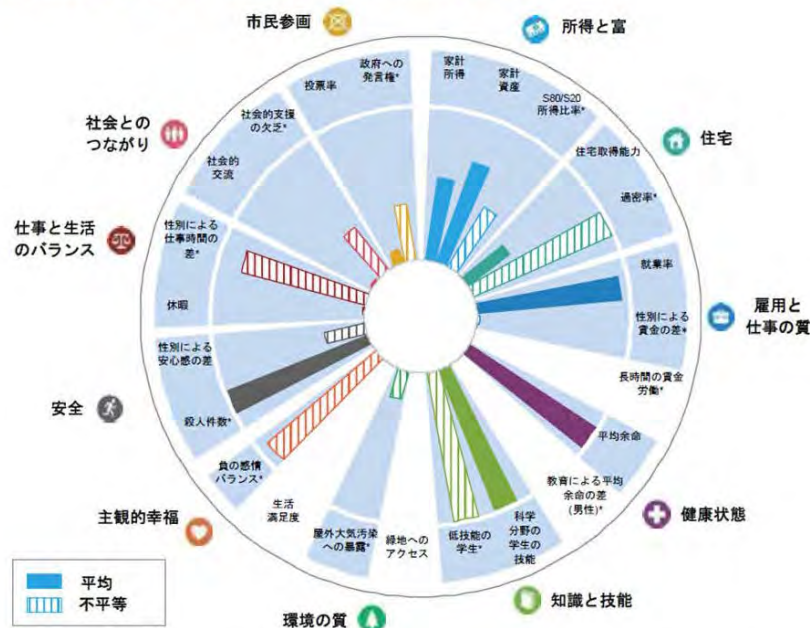
満足度・生活の質に関する指標について①

- ◆2000年代以降、GDP以外で経済社会の進歩を計測する取組が国際的に活発化。
- ◆OECDは最優先の取組に「人々の幸福を政策努力の中心に据えるよう、成長の考え方を再定義すること」を加えた。幸福度を測定する意義について、満足度の向上に必要な各種政策を立案することに貢献するとしている。

(参考) “OECD How's Life 日本の幸福度”(2020年3月)

<https://www.oecd.org/statistics/Better-Life-Initiative-country-note-japan-in-japanese.pdf>

日本の幸福度 (2018 年またはデータが利用可能な直近年)



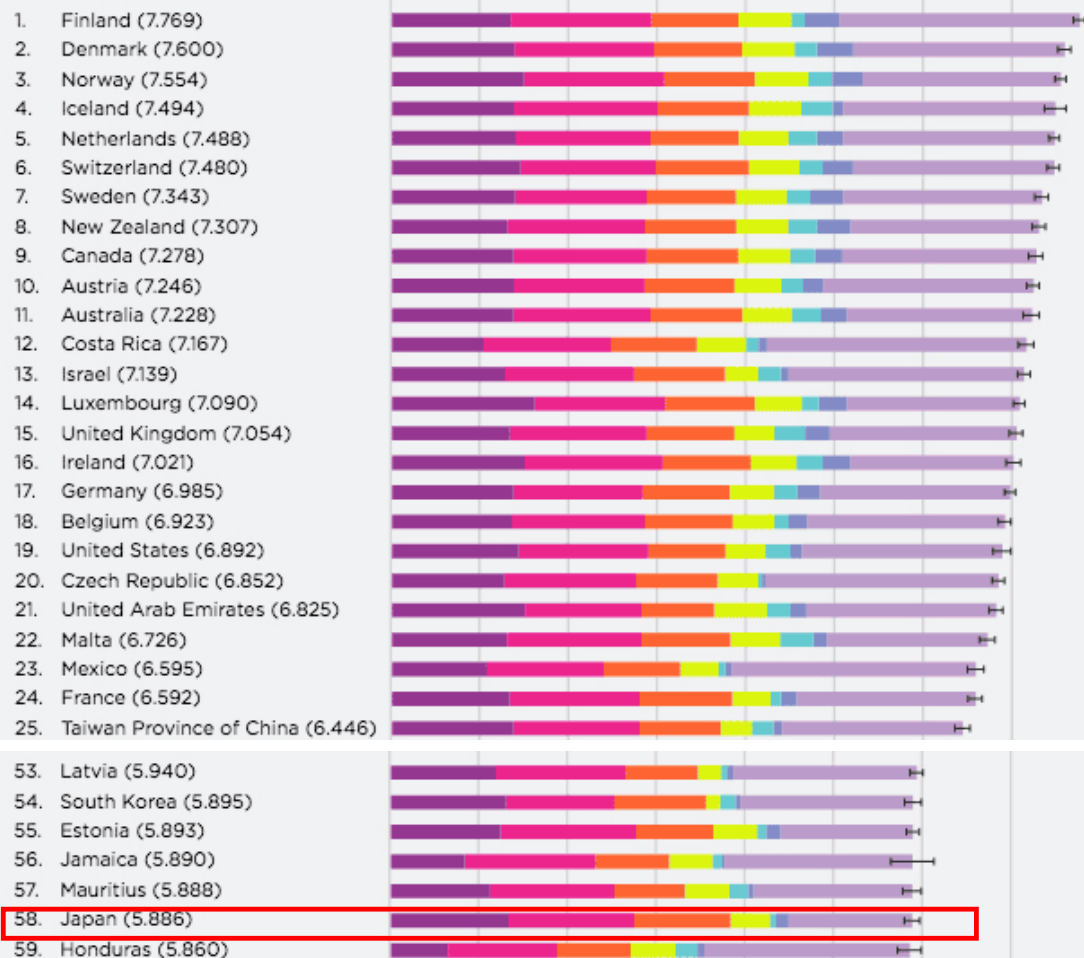
(参考) 日本の順位

指標	順位
就業率	5/41位
平均余命	1/41位
科学分野の学生の技能	2/41位
殺人件数	1/41位
投票率	37/41位
社会的交流	24/24位
休暇	22/22位

注：このグラフは、各幸福度指標について他の OECD メンバー国と比べた相対的な日本の強みと弱みを示している。線が長い項目ほど他国より優れている（幸福度が高い）ことを、線が短いほど劣っている（幸福度が低い）ことを示す（アスタリスク*がつくネガティブな項目は反転スコア）。不平等（上位層と下位層のギャップや集団間の差異、「剥奪」閾値を下回る水準の人々など）はストライプで表示され、データがない場合は白く表示されている。

満足度・生活の質に関する指標について②

Figure 2.7: Ranking of Happiness 2016-2018 (Part 1)



国名	2019年	2018年
フィンランド	1 位	1 位
デンマーク	2 位	3 位
カナダ	9 位	7 位
米国	19 位	18 位
ドイツ	17 位	15 位
英国	15 位	19 位
フランス	24 位	23 位
イタリア	36 位	47 位
日本	58 位	54 位

- 一人当たりGDP
- 社会的支援
- 健康寿命
- 社会的自由
- 寛容さ
- 汚職の無さ・頻度
- ディストピア

満足度・生活の質に関する指標について③

- ◆ 我が国においても、骨太方針を受け、内閣府において、経済社会の構造をGDPといった数量的な側面に加え、満足度という質的・主観的観点からより多面的に「見える化」し、政策運営に活かしていくべく検討を進めてきた。
- ◆ こうした観点から、2018年度に1万人を対象としたWEB調査を実施し、これに基づき、満足度・生活の質を客観的に把握するのに役立つ指標のグループを一覧表示する「満足度・生活の質に関する指標群(ダッシュボード)」の暫定試案を作成した。

(参考)

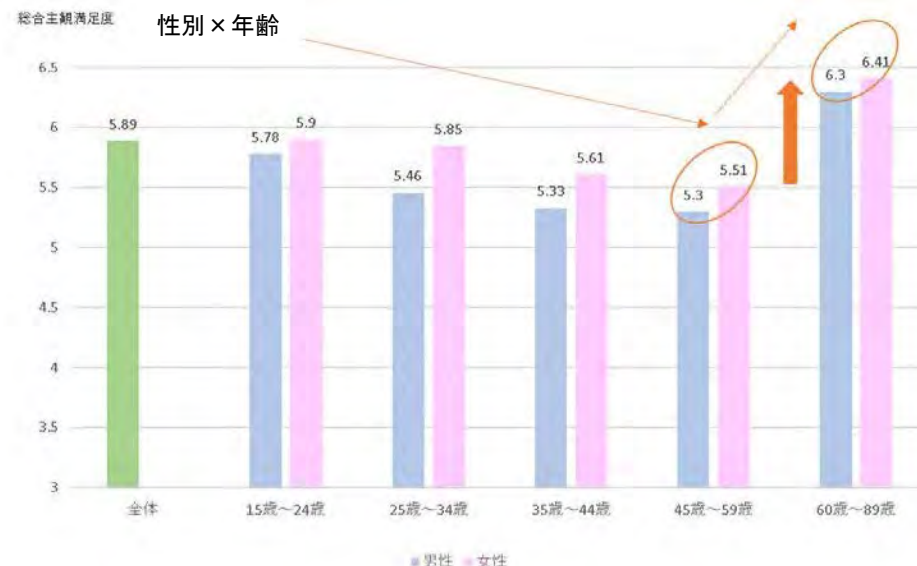
●「骨太方針2018」(2018年6月):「国民の満足度、生活の質が向上されるよう、満足度・生活の質を示す指標群を構築するとともに、各分野のKPIに関連する指標を盛り込む。」

●「骨太方針2019」(2019年6月):「我が国の経済社会の構造を人々の満足度(well-being)の観点から見える化する「満足度・生活の質を表す指標群(ダッシュボード)」の構築を進め、関連する指標を各分野のKPIに盛り込む。」

WEB調査の結果(抜粋)

- 全国の総合主観満足度の平均は5.89※
- 性別で見ると、女性の方が男性よりも総合主観満足度が高いことが分かる。
- 「45～59歳までは」男女ともに年齢が上がるにつれて総合主観満足度が低下していくが、「60歳以上」になると急激に上昇する

※総合主観満足度の全国平均は調査の単純集計結果ではなく、平成27年国勢調査の構成比(性別・年齢・地域)で調整(ウェイトバック集計)を行っている。

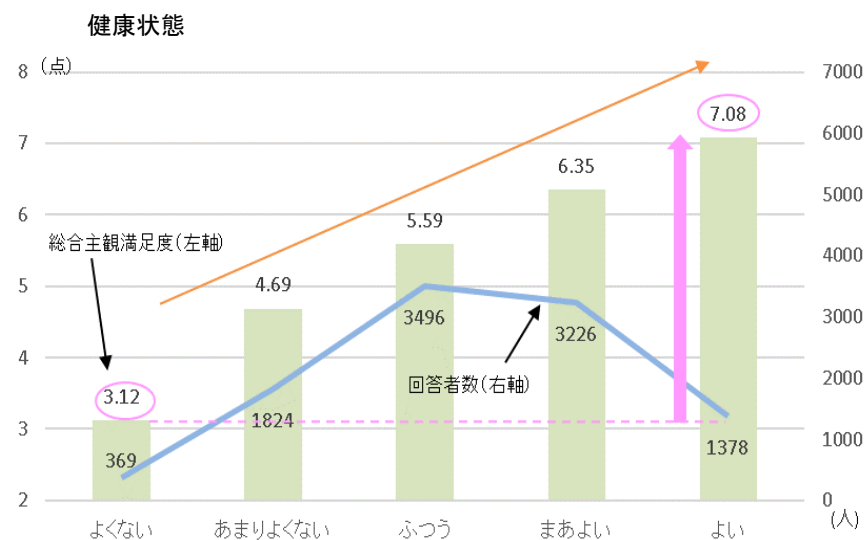


満足度・生活の質に関する指標について④

WEB調査の結果(抜粋)(続き)

○世帯年収別に見ると、世帯年収が「2,000万円～3,000万円」までは年収の上昇に応じて総合主観満足度が高まるが、ここで頭打ち肢、それ以上の年収があっても、総合主観満足度は緩やかに逓減する。特に、年収300万円以上を境に総合主観満足度が約0.5ポイント上昇するなど、それ以降の年収の増加と満足度に比して大きく上昇する。

○健康状態別に見ると、健康状態がよいほど総合主観満足度は上昇する。健康状態は「よい」か「よくない」かで総合主観満足度に大きな差(約4ポイント)が生じている。

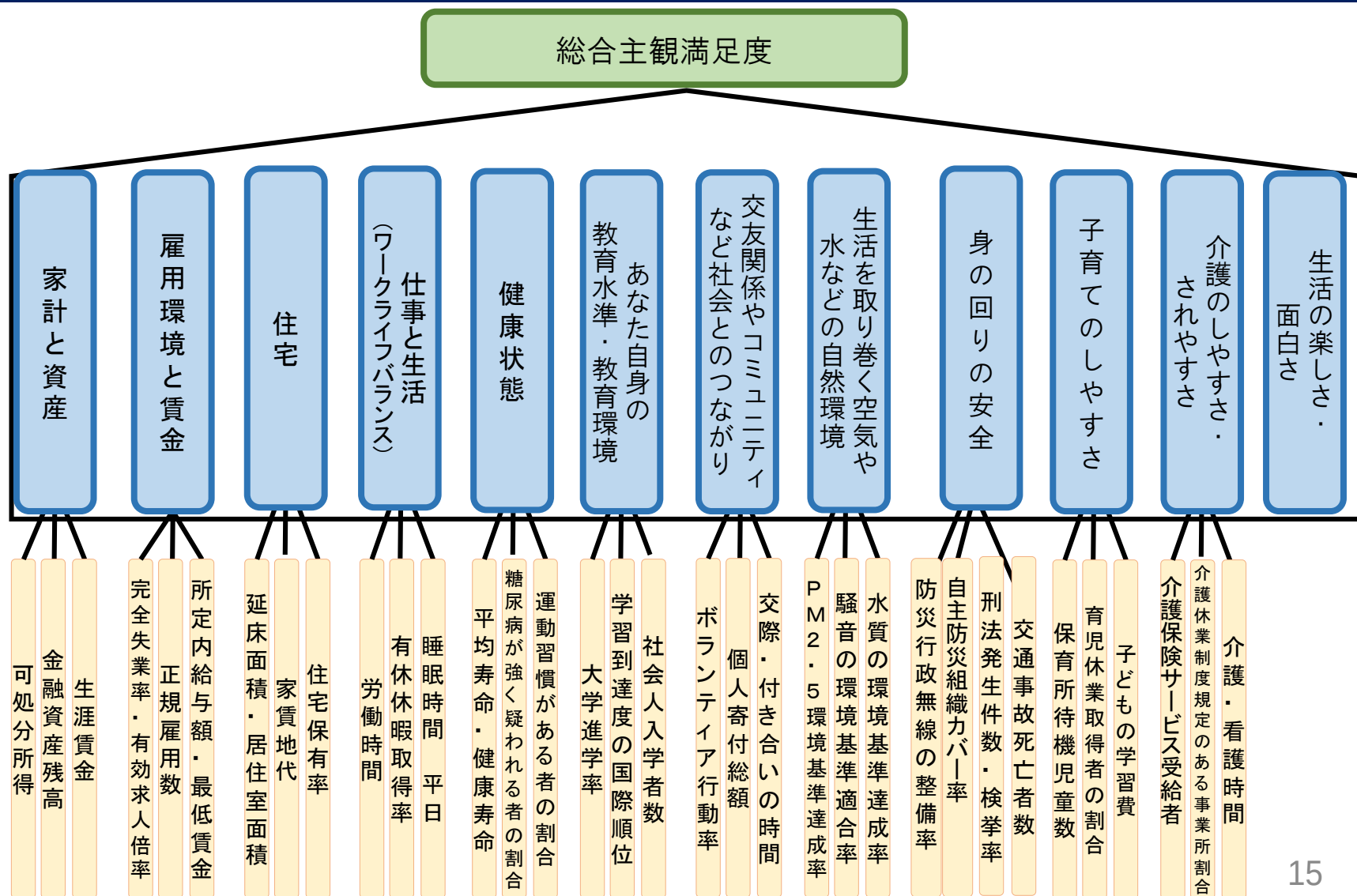


満足度・生活の質に関する指標について⑤

(第1層)

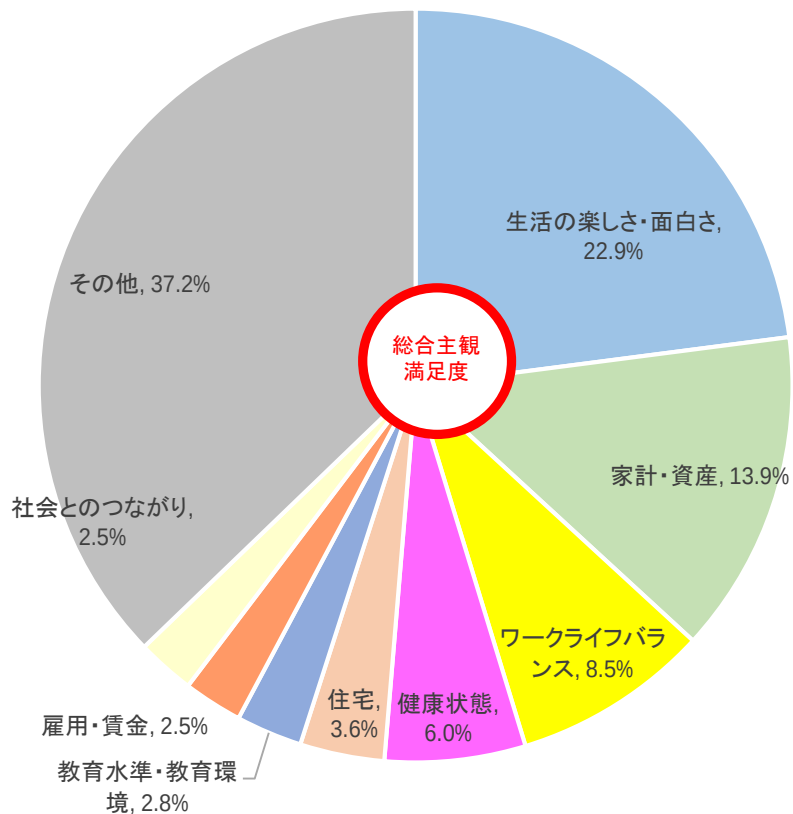
分野別主観満足度(第2層)

客観指標群(第3層)

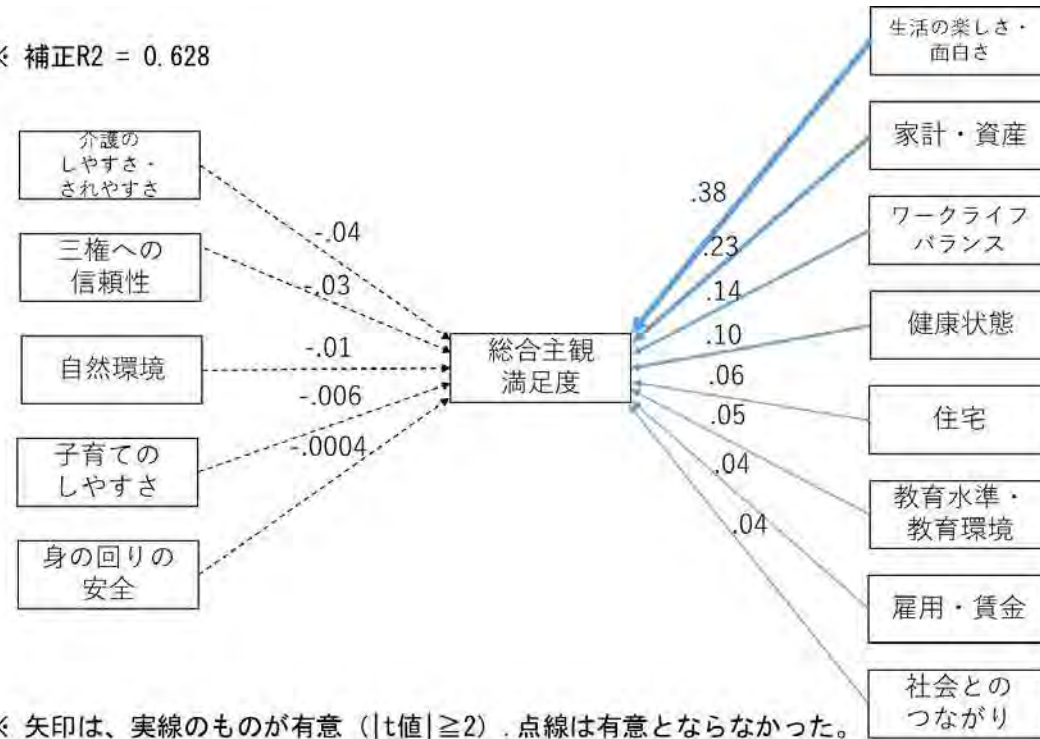


満足度・生活の質に関する指標について⑥

○総合主観満足度を被説明変数、13分野の分野別満足度を説明変数として重回帰分析を行ったところ、8分野が有意となった。特に生活の楽しさ・面白さ、家計・資産、ワークライフバランスについては係数が高かった。

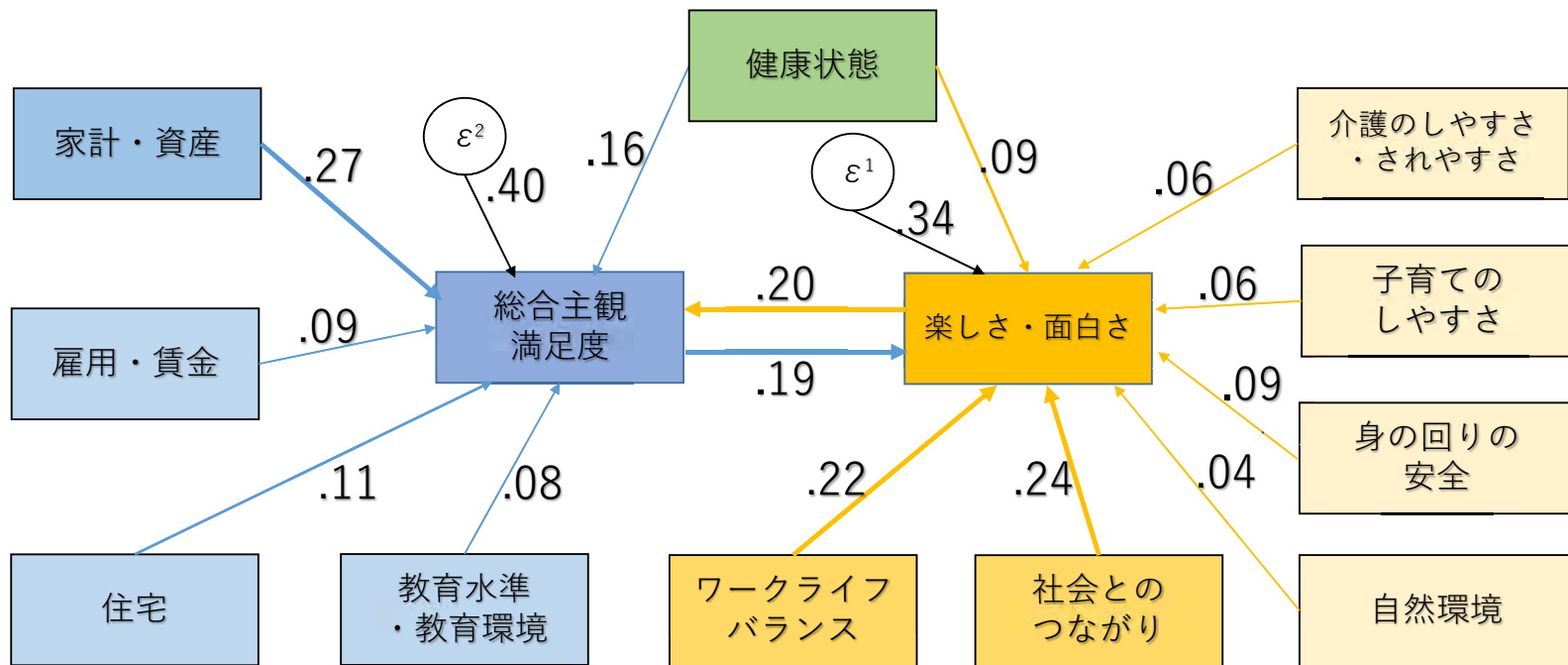


※ 補正R2 = 0.628



※ 矢印は、実線のものが有意 ($|t| \geq 2$)、点線は有意とならなかった。
※ 数字は偏回帰係数。

満足度・生活の質に関する指標について⑦



※ 数字はパス係数。係数は有意 ($|Z| \geq 2$) かつ符号条件 (符号+) を満たす。 ε は誤差。

※ $R^2 = 0.730$ (全体), 0.660 (総合主観満足度), 0.602 (楽しさ・面白さ)

満足度・生活の質に関する指標について⑧

ダッシュボードの構築方法

◆指標群の選定は、総合的な主観的満足度に影響を与えていると考えられる分野別の主観的満足度を調べたうえで、後者に関係の深い客観指標群を抽出するという方式で行った。総合満足度を構成する分野については、OECDによる先行事例の分野をベースとして、分析により、家計と資産、雇用と賃金、ワークライフバランス、子育てのしやすさ等、計11分野を選定した。

◆次に、本調査において、各分野別の主観満足度において重要であるとの回答が多かった項目と、分野別主観満足度との相関が高かった生活実態データを抽出し、これに対応すると思われる客観指標を選択した。

●「家計と資産」の指標

家計と資産に関する指標群は、①本調査1における、「家計と資産」に関する現在の満足や不満に大きく影響しているものはどれですか」との質問に対する上位回答項目および、②本調査の回答者の収入、金融資産等といった属性と「家計と資産」の満足度との相関を分析した結果、をもとに選考した。

①上位回答項目

- 1位：世帯の総収入額（年金を含む）（56.9%）
- 2位：将来の収入（所得、年金などの見込み）（49.2%）
- 3位：将来の負担（税金、医療費、保険料の増加などの見込み）（41.1%）

②「家計と資産」の満足度との相関

- ・世帯全体の年間収入（税・社会保険料込）（相関係数：0.23）
- ・世帯全体の金融資産（預貯金や有価証券等）（相関係数：0.26）

(1)世帯の可処分所得金額（家計調査）

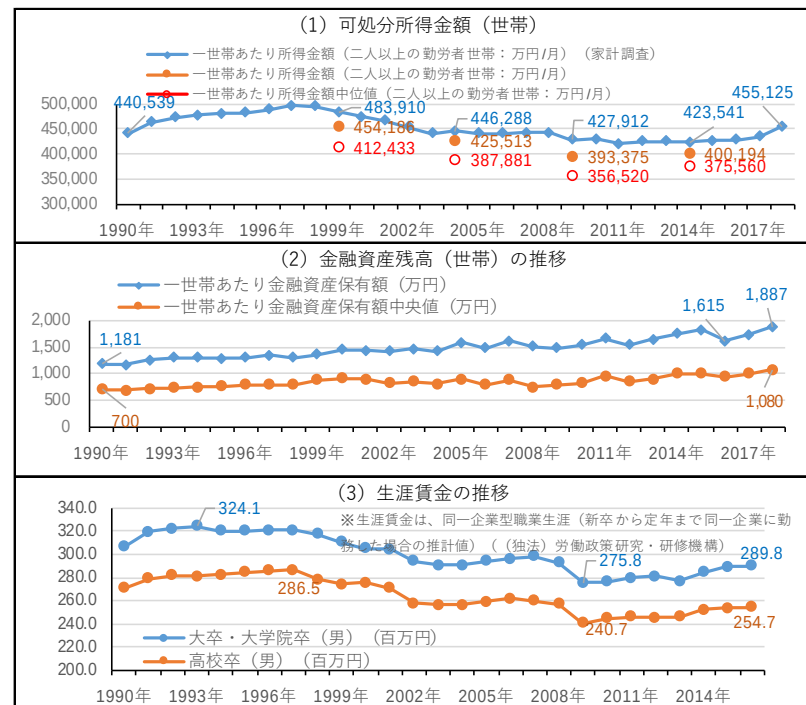
世帯の可処分所得金額は、①において、最も回答が多かった項目「世帯の総収入額」および、②において、相関係数が0.230であった「世帯全体の年間収入」を表すのに適した客観指標である。

(2)世帯の金融資産残高（家計の金融行動に関する世論調査）

世帯の金融資産額は、②において、相関係数が0.26だった「世帯全体の金融資産」を表すのに適した客観指標である。

(3)生涯賃金（賃金構造基本統計調査）

生涯賃金は、①において、2番目に回答が多かった項目「将来の収入の見込み」の目安となる客観指標である。

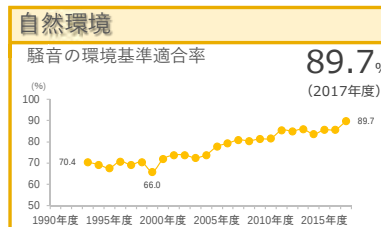
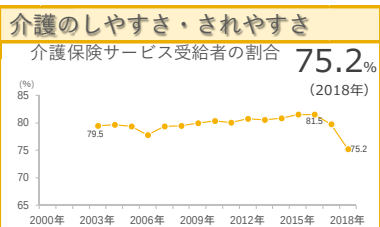
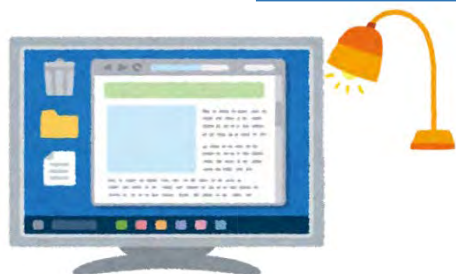
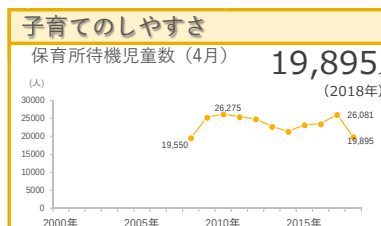
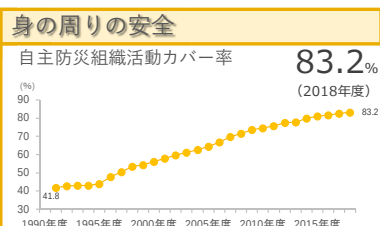
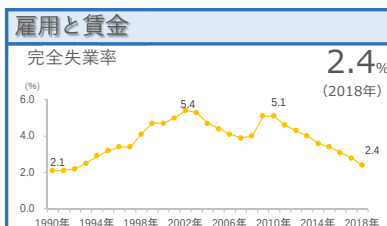
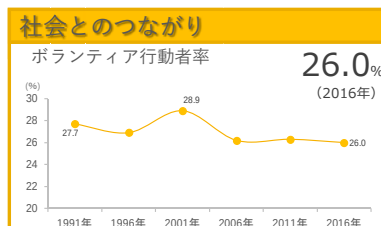
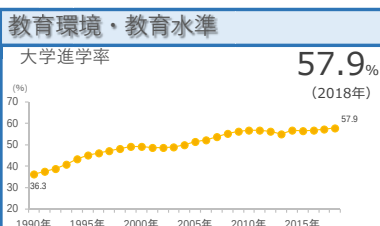
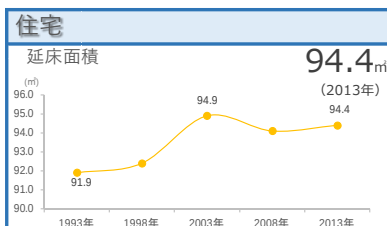
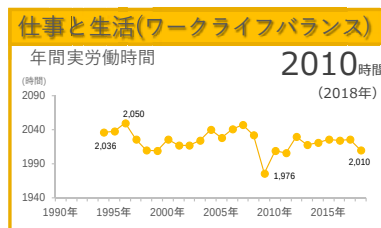
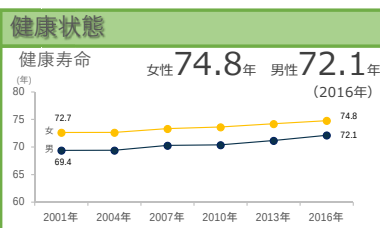
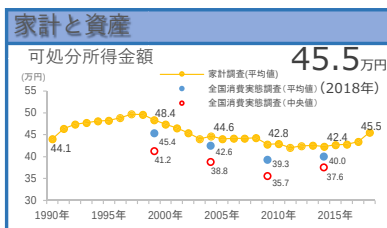


1：全国1万人を対象としたアンケート調査（2019年1月～2月に（株）サーベイリサーチセンターが実施したインターネット調査）の結果。

2：本指標に相当または類似するOECD指標（「How's Life」（より良い暮らし指標）のヘッドライン指標、二次指標）。◎はヘッドライン指標（2017）、○はOECD二次指標（過去のヘッドライン指標を含む）。

満足度・生活の質に関する指標について⑨

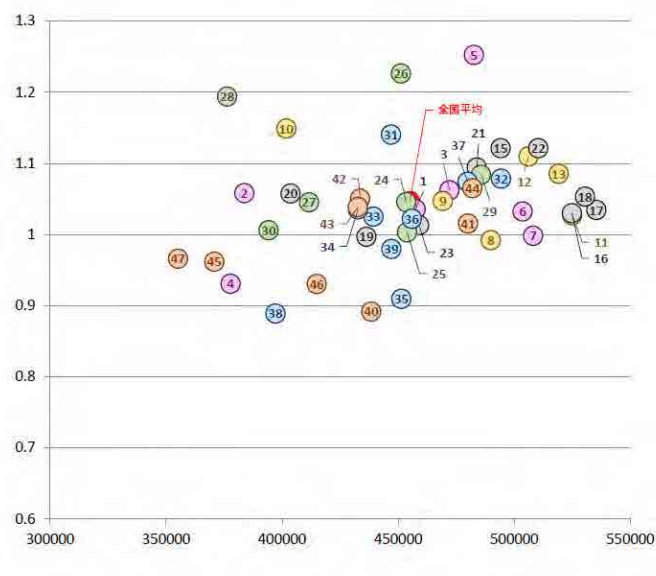
満足度・生活の質を表す指標群(ダッシュボード)



満足度・生活の質に関する指標について⑩

北海道・東北	1	北海道	近畿	24	三重県
	2	青森県		25	滋賀県
	3	岩手県		26	京都府
	4	宮城県		27	大阪府
	5	秋田県		28	兵庫県
	6	山形県		29	奈良県
	7	福島県		30	和歌山県
関東	8	茨城県	中国・四国	31	鳥取県
	9	栃木県		32	島根県
	10	群馬県		33	岡山県
	11	埼玉県		34	広島県
	12	千葉県		35	山口県
	13	東京都		36	徳島県
	14	神奈川県		37	香川県
中部	15	新潟県	九州・沖縄	38	愛媛県
	16	富山県		39	高知県
	17	石川県		40	福岡県
	18	福井県		41	佐賀県
	19	山梨県		42	長崎県
	20	長野県		43	熊本県
	21	岐阜県		44	大分県
	22	静岡県		45	宮崎県
	23	愛知県		46	鹿児島県
				47	沖縄県

家計可処分所得



睡眠時間

